

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成29年10月26日 (2017.10.26)

【公開番号】特開2016-42022(P2016-42022A)

【公開日】平成28年3月31日 (2016.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2016-019

【出願番号】特願2015-231184(P2015-231184)

【国際特許分類】

F 2 5 D 23/02 (2006.01)

【F I】

F 2 5 D 23/02 3 0 4 E

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月11日 (2017.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前面を構成する前面パネルと、この前面パネルの外側端部の少なくとも一部を支持する枠体と、背面を構成する背面パネルと、前記前面パネル、前記枠体及び前記背面パネルとで形成される空間内に断熱材が充填され、冷蔵庫本体の前面開口を開閉する冷蔵庫の扉体であって、

前記前面パネルは、厚みが 0.5 ～ 10 mm であり、引張弾性率 1500 MPa 以上である樹脂シートで構成され、前記空間内の前記断熱材と接触する面の少なくとも一部に緩衝材を備えており、

前記緩衝材は、前記断熱材の体積が膨張した場合に、前記断熱材の膨張に対応して、当該膨張した前記断熱材の体積を吸収するように、前記緩衝材の厚みが薄くなるものであることを特徴とする冷蔵庫の扉体。

【請求項 2】

前記断熱材は、前記緩衝材が縮むように充填されており、

前記緩衝材は、前記断熱材の体積が収縮した場合に、前記断熱材の収縮による圧力で、前記前面パネルが萎むように変形することを防ぐことができるものであることを特徴とする請求項 1 に記載の冷蔵庫の扉体。

【請求項 3】

前記緩衝材と前記断熱材の間に配置される第 2 の緩衝材を備えることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の冷蔵庫の扉体。

【請求項 4】

前記第 2 の緩衝材は、前記断熱材と前記緩衝材とが直接接触することによって、前記断熱材が前記緩衝材に浸透することを防ぐものであることを特徴とする請求項 3 に記載の冷蔵庫の扉体。

【請求項 5】

前記樹脂シートが、前記断熱材が形成される側の表面から順に着色樹脂シート層と透明樹脂シート層とを、この順に含む積層体であることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の冷蔵庫の扉体。

【請求項 6】

前記枠体は、当該枠体内部の開口を縦横で分離してなる形状を有する補強面部を備える

ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の冷蔵庫の扉体。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の扉体を使用した冷蔵庫。